

16 室外ユニット据付スペース

1

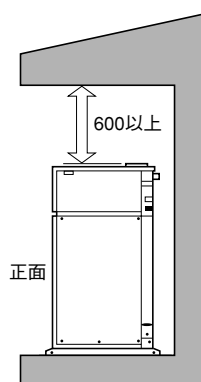
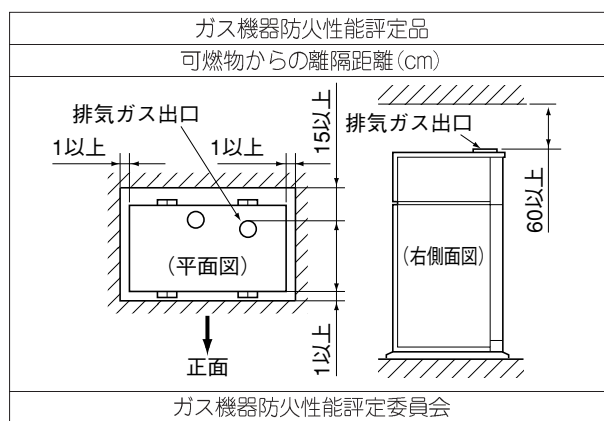
据付スペース

⚠ 注意

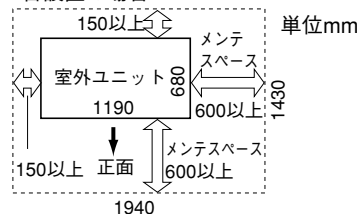
- 可燃物からの離隔距離は、下記ラベルのように定められていますので可燃物を近づけないでください。また床面は不燃構造としてください。定められた離隔距離をとらないと火災の原因になることがあります。
- 性能維持、修理点検作業用のスペースは下記のように定められていますので据付スペースを守って設置してください。屋上設置などでスペースが不足する場合、作業者の転落やケガの原因になることがあります。

- 室外ユニットを据付ける場所の周囲条件は、下記寸法の据付スペースを確保してください。なお、下記以外の複数台数集合設置の場合の据付スペースについては、裏表紙記載の問合せ先へご相談ください。
- ※据付場所に余裕があれば、効率の良い運転のためにできるだけ広い寸法をお取りください。

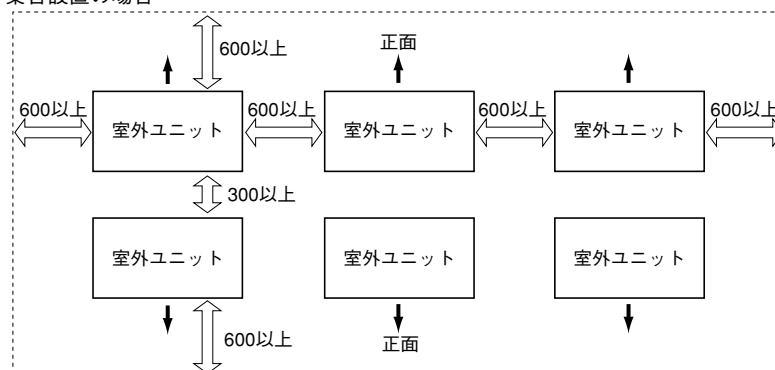
YACSJ140-A



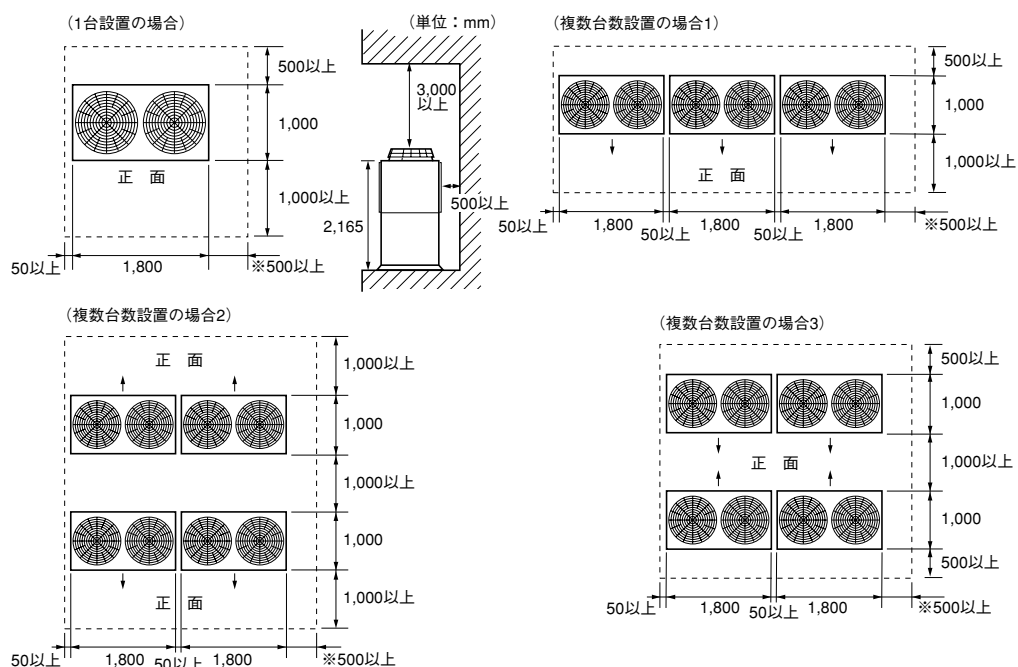
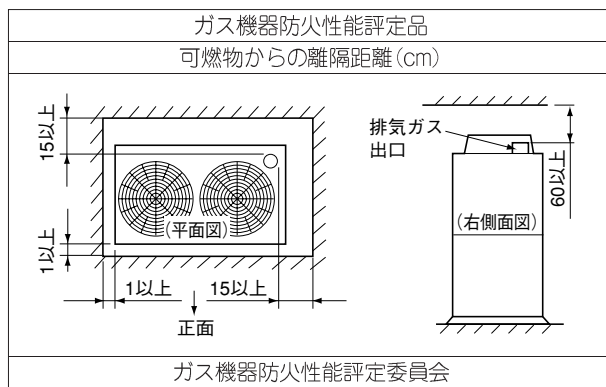
1台設置の場合



集合設置の場合



YACSJ560-A



※左右どちらかに500mm以上のメンテ用通路を設けてください。

- 室外ユニット上方に3,000mm以上の余裕がない場合は、オプションの風向変更板をご使用ください。風向変更板を取付けると室外ユニット全高は618mm高くなります。
- ・ 集合設置でオプション品の風向変更板を取付ける場合は、室外ユニット間は50mmスペースで取付け可能ですが、作業性を考慮し300mm程度のスペース確保をお奨めします。
- ・ オプション品の防雪フード(吸込用)を取付ける場合は、室外ユニット間の側面距離を、フード間の離隔距離300mm以上にしてください。